

めぐみの森だより 2024年3月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448

1月26、27日、神戸まで研修に出掛けてきました。この研修は、賀川豊彦を創設者とする三法人「イエス団」「本所賀川記念館」「雲柱社」の掲げる理念や精神、事業について相互に共有、意見交換を通してこれからの各法人のあ
るべき姿を改めて考える機会として、コロナ禍以降4年振りに行われました。



初日には、聖公会生野センター総主事のオ・クアンヒョン先生より、在日朝鮮人の立場から「関東大震災とヘイトクライム」についての基調講演を聞きました。「ヘイトクライム」「ヘイトスピーチ」言葉としては聞いたこともあり、意味もなんとなくわかっていますが、はじめて本当の意味を知ることとなりました。差別は昔のことではなく、現実として今現在も起きている。研修の中では、実際のヘイトスピーチの映像や、年金、介護の制度上の問題等、わかりやすくお話していただきました。特にヘイトスピーチの映像は、中学生くらいの子が大きな声で「朝鮮人は帰れ」等マイクで叫ぶ姿もあり、目を伏せたくなる映像ばかりでしたが、これが現実には起きていることに衝撃を受けました。きっとその中学生は、生まれながらにしてそういった環境で育ったことでそれを当たり前として捉えただけなのかもしれませんが、60年以上日本に住んでいらっしゃるオ先生でも、未だに怖さを感じる瞬間があるとおっしゃっていました。

また、平和は守るものではなく作り出すものであり、そのためには知ることから始めていくことが大切です。とおっしゃっていました。差別の問題も相手のことを知らないことで起きていることがほとんどではないでしょうか。特に外国籍の方は、育った環境、文化の違いから理解しがたいこともあるかもしれませんが、それは国籍に関係なく日本人同士でも起こりうることです。

先日朝の早い時間、2階のホールで子どもたちと過ごす時間がありました。その時間は、3歳児～5歳児が合同で過ごす時間のため異年齢での交流も見られます。3歳のCさんが“動物かるた”をしているところに5歳のRさんがやってきました。朝の時間よく一緒にいるようで、会話が弾み「よんで」とかるたの読み札をCさんがRさんに渡します。Rさんは普通に読み始めますが、読むペースはゆっくりで自然とCさんのペースに合わせて読んでいます。2回目は私が読み札を読み、Cさんが取ります。Rさんはその様子を見ているだけで、Cさんより先に手札を見つけても取ることはせずにいます。Cさんもそれがわかっているようで、自分のペースで楽しんでいます。そしてRさんもその時間をRさんなりに楽しんでいるように見えました。平和を作り出すとは、何か大きなことを成し遂げなければならないのではなく、Rさんがしていたように相手に合わせ自分の在り方を選択していくことなのかもしれません。



今年度も24名の子どもたちが、めぐみの森から卒園し旅立っていきます。こうして子どもたちが羽ばたいていく未来が、平和であり続けるために、Rさんがしていたように私たち一人一人が、平和を守るのではなく作り出していくことができるようになっていきたいと思います。

(記:園長 藤本 紘子)



私のお気に入り



今年もこの季節がやってきました。気候的には温かく過ごしやすいの、花粉症の方には辛くて苦しい季節ですね。そんなあなたに、おすすめしたいのが“鼻うがい”私は毎日ではありませんが、季節に関係なく行っています。鼻うがいの痛いイメージも『ハナクリーンS』を使えば、全く痛くありません。

専用の洗浄剤の『サーレS』を溶かして使用しています。お鼻もスッキリ！！ぜひお試しください！！

